

八重山で共に暮らす島人を撮影したシリーズ。
暮らしの中から見つめる被写体に共感と敬意を
込めて撮影している。



^{みねもとまりん}嶺本真凜さんは、竹富島出身のお母さん^{むつみ}睦美さんに連れられて昨年の3月末に沖縄島から竹富島へと移り住んだ。

「竹富島で暮らすことで、自分たちのルーツを少しでも真凜が感じてくれたら良いなという想いがありました」と睦美さん。

面白いことが好きで、ノリが良く、場を盛り上げるのが上手な真凜さん。放課後や週末には学校の友達と楽しそうに遊んでいる姿を見かける。

沖縄に住んでいた時は、海はゴミが多くきれいではなかったことから、川遊びを楽しんでいた。竹富島に来て、海がきれいだと思ったそう。

真凜さんにはかつて力士だった^{しんこう}眞功さんという今は亡きお爺さんがいる。

「おじいちゃんには、竹富島の昔の話を聞きたかった。お姉ちゃんとお兄ちゃんには厳しかったけど、私には優しくかったから、おじいちゃんは、優しくて厳しい人」

真凜さんに、これからチャレンジしてみたいことについて聞いてみた。

「お母さんと5歳の時に種子取祭の舞台を観て、面白かった。私も舞台に立ってみたい。怖いけど、楽しそう」

同じ沖縄でも島が違えば暮らしも人も変わる。真凜さんはこれからどんな人になっていくのだろう。楽しみに見守っていきたい。

水野暁子 みずのあきこ

1973年千葉県に生まれる。1986年に家族とアメリカへ渡る。1996年 School of Visual Arts (New York) を卒業。1999年に竹富島に移住。現在子育てをしながら撮影活動中。

●島人へのインタビューをまとめて紹介している YouTube チャンネル「八重山ライブラリー」も。



Akiko Mizuno Photography



八重山ライブラリー